

西尾市地区別防災カルテ

①基本情報

地区No	10
地区名	矢田小学校

●地区の概況

市西部に位置し、北部・西部の段丘上には住宅地が形成され、東部の氾濫平野、南部の三角州は農地として利用されている。北側には主要地方道岡崎碧南線、南側には主要地方道西尾幸田線がそれぞれ東西に走っている。

●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	4539 世帯	
65歳未満	10011 人	82.2 %
65歳以上	1996 人	16.4 %
合計	12172 人	

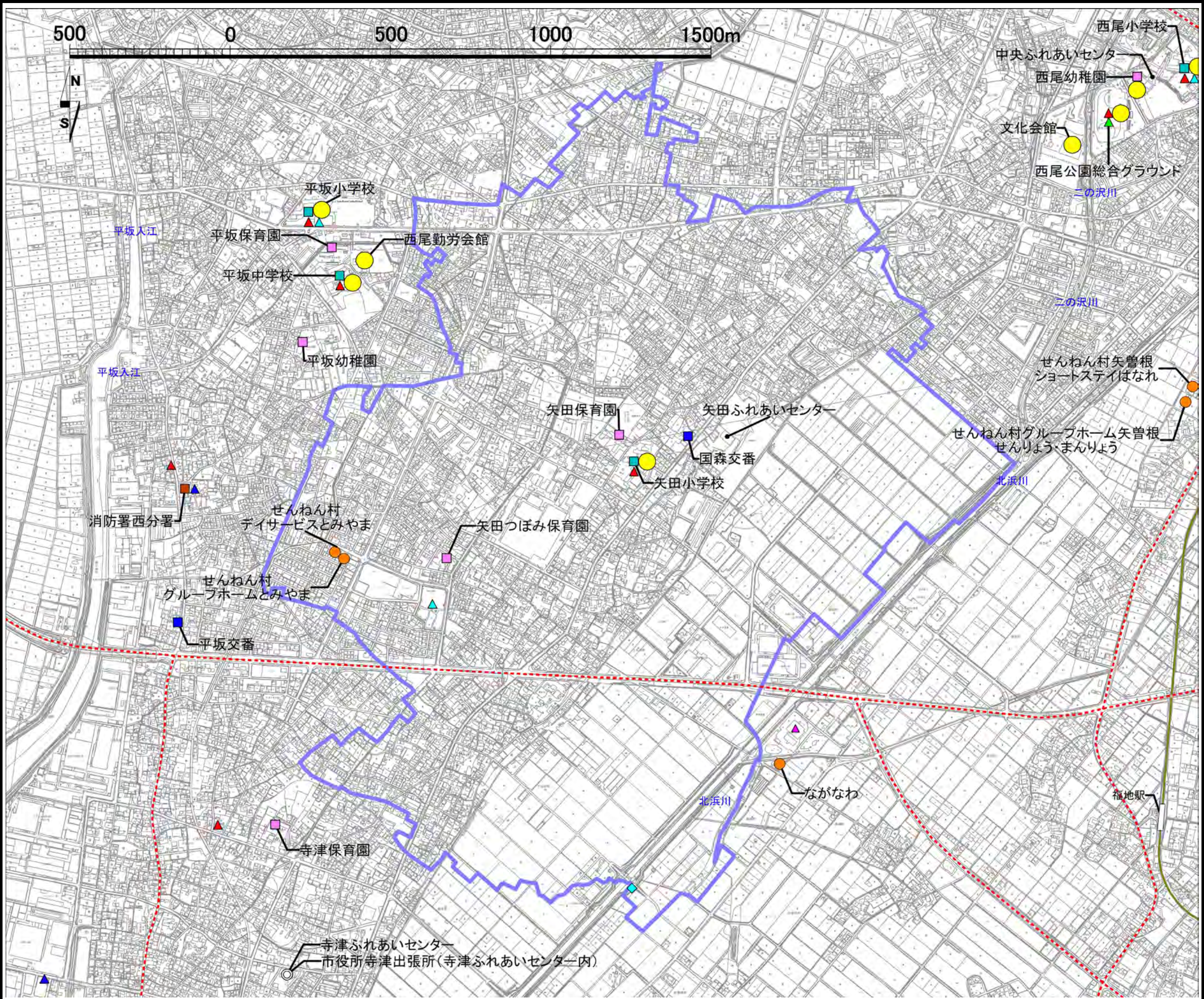
※合計値は年齢不詳の人口も含む

●地区の課題

地区南東部の平野部では洪水、津波、高潮による浸水の危険性が高い。
地震時は、建物倒壊や液状化の危険性が高く、住宅密集地では、避難路の閉塞や延焼火災が起こりやすい。また、津波からの避難も必要となる。
高潮発生時は、地区内に開設される指定避難所がないため、地区外へ避難する必要がある。

●凡例

● 指定緊急避難場所・指定避難所	■ 学校
● 津波一時待避所	■ 幼稚園・保育園等
● 福祉避難所	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
◎ 市役所・支所等	▲ 水防倉庫
■ 警察署等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
■ 消防署等	▲ 防災活動拠点
■ 救急病院	▲ 衛生施設
◆ 水位観測所	● その他の施設
◆ 雨量観測所	
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

②洪水被害・土砂災害

地区No	10
地区名	矢田小学校

●地区別大雨等被害の特性

地区南東部の平野部で広範囲にわたり1m以上3m未満の浸水が想定されている。指定避難所の矢田小学校は浸水想定区域に含まれていないが、すぐ近くまで浸水するおそれがある。

●避難環境評価

避難所収容者数	6727 人
避難者数	9672 人
最長避難距離	約 1.5 km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

●最大浸水深

対象全河川(重ね合せ)	3m以上5m未満
矢作川	3m以上5m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	範囲外
朝鮮川	範囲外
矢崎川	範囲外
北浜川・二の沢川	3m以上5m未満
乙川	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	0 箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	0 箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	0 箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	0 箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0 箇所

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所

学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

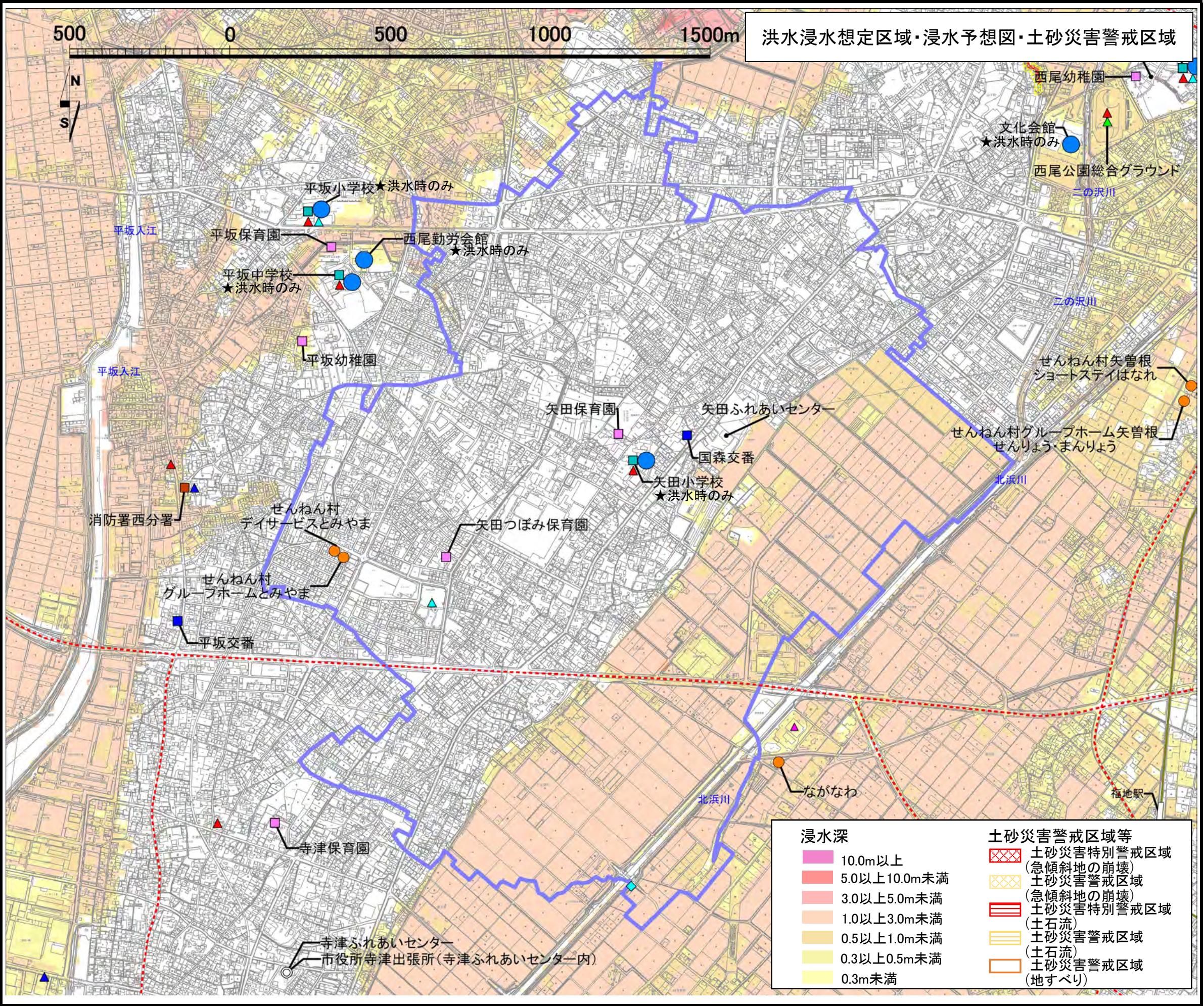
その他の施設

小学校区界

鉄道

市町村界

緊急輸送道路



浸水深

10.0m以上

5.0以上10.0m未満

3.0以上5.0m未満

1.0以上3.0m未満

0.5以上1.0m未満

0.3以上0.5m未満

0.3m未満

土砂災害警戒区域等

土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)

土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)

土砂災害特別警戒区域(土石流)

土砂災害警戒区域(土石流)

土砂災害警戒区域(地すべり)

西尾市地区別防災カルテ

③地震被害

地区No	10
地区名	矢田小学校

●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、ほぼ全域で震度6強となる。(下図参照)
地区南東部では液状化の危険度が極めて高く、緊急輸送道路に指定されている西尾幸田線も液状化による被害を受ける可能性が高い。
北部等の住宅密集地では延焼火災の危険性がある。

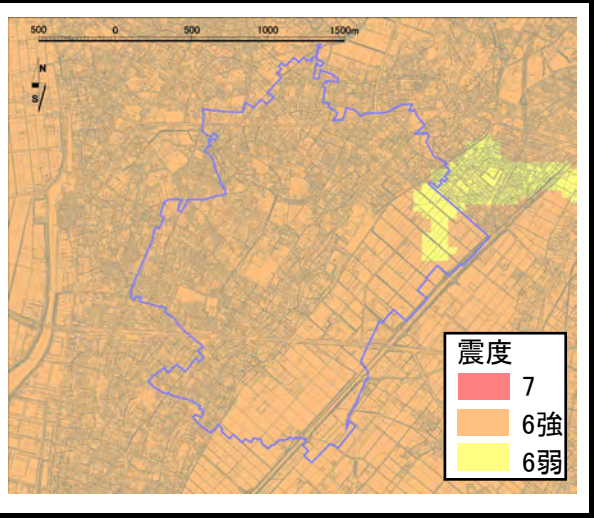
●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む	2888 人
--------------------------	--------

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

建物全壊数	628 棟
建物半壊数	723 棟
死者数	30 人
重傷者数	49 人

●過去地震最大モデル震度分布図



●凡例

- 指定緊急避難場所・指定避難所 (地震時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所
- 学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

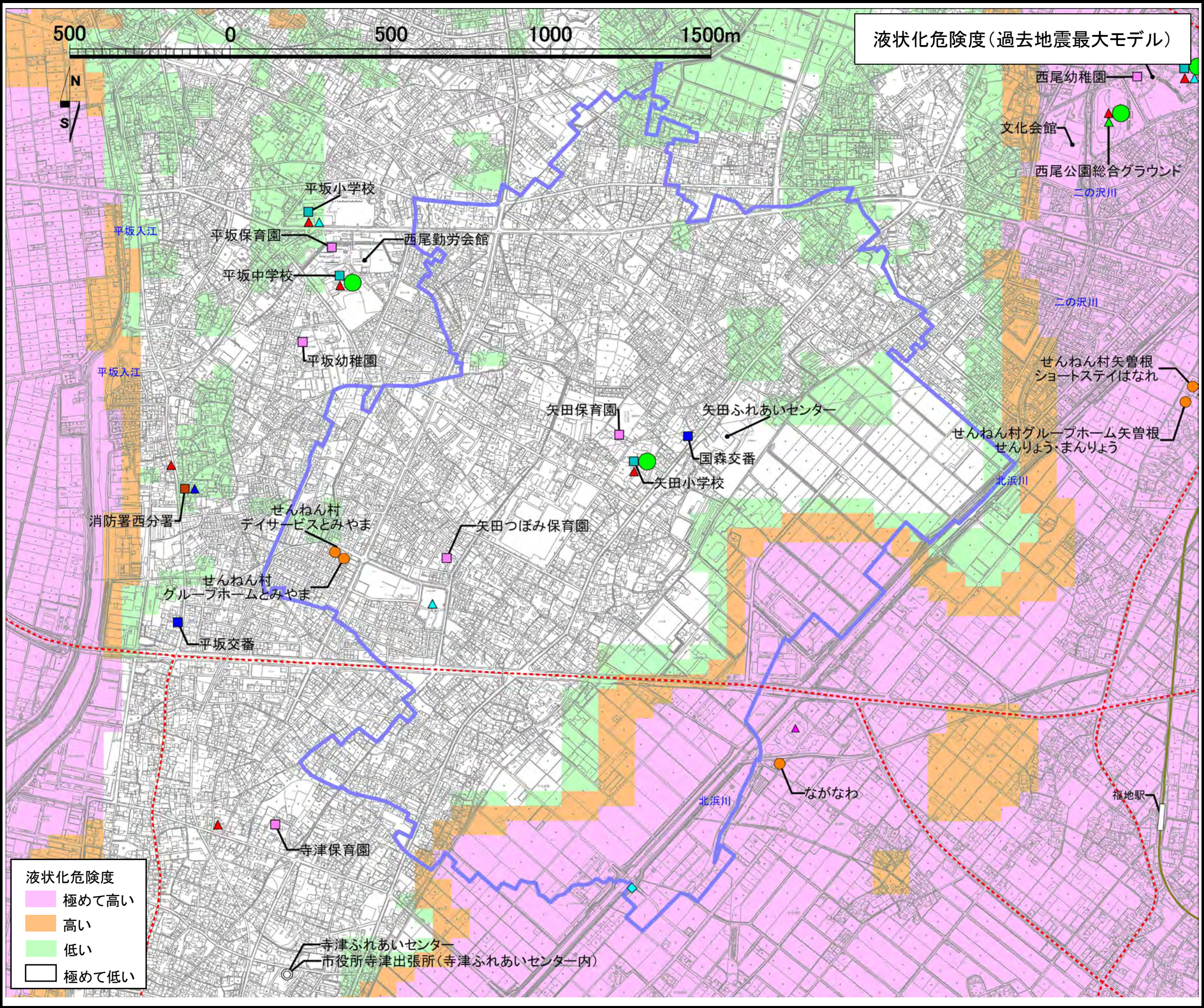
衛生施設

その他の施設
- 小学校区界

市町村界

緊急輸送道路

鉄道



④津波被害

●地区別津波被害の特性

●避難環境評価

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画(令和5年4月修正)に記載された校区のみ記載している。

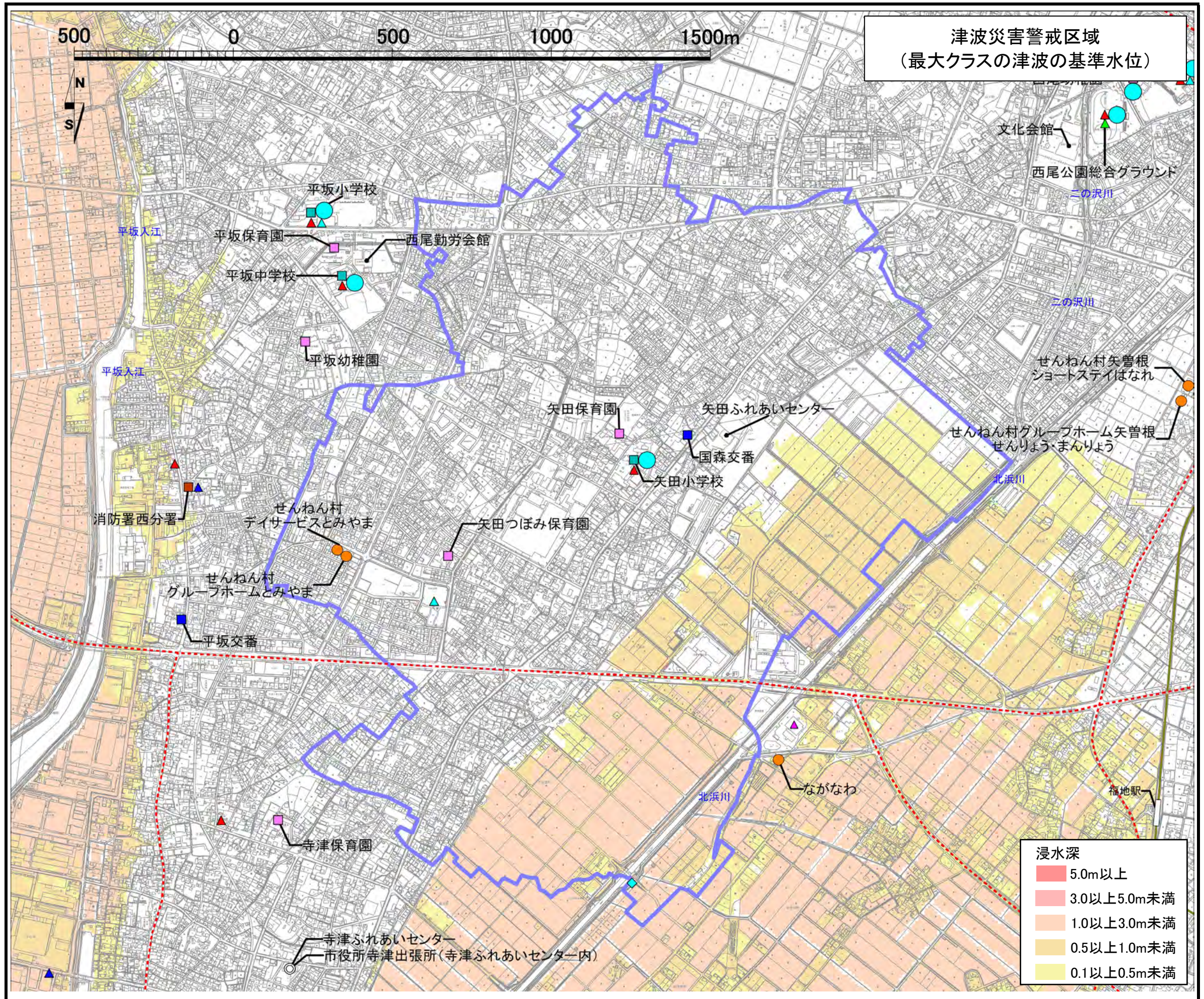
●津波浸水深

●津波発生時の避難先

避難目標：矢田小学校

●凡例

- 小学校区界 市町村界
 鉄道  緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

⑤高潮被害

地区No	10
地区名	矢田小学校

●地区別高潮被害の特性

地区南東部の平野部を中心に、広範囲で3m以上5m未満の浸水が想定されている。
地区内に高潮時に開設される避難所がないため、平坂小学校区等への避難が必要となる。

●避難環境評価

避難所収容者数	- 人
避難者数	7267 人
最長避難距離	約 - km

●高潮浸水深

最大高潮浸水深	5m以上10m未満
---------	-----------

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所
(高潮時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所

学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・
その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

その他の施設

小学校区界

市町村界

鉄道

緊急輸送道路

